

平成 1 7 年第 6 回（12月）定例会 一般質問通告表

順	質 問 事 項	質 問 者
1	地方分権と佐渡市の行政課題について (1) 経済財政諮問会議中心の構造改革が進める官から民の偏見行政がもたらした重大な欠陥行政から学ぶべきものについて (2) 三位一体の改革下のトップマネジメント（市長・助役）に求められる指導力について 機構改革に管理者の理念がどのように反映されているか 40名以上いる上級職試験合格者の専門別研修制度の能力開発の必要性について 地域再生・バイオマス事業。へき地バス運行に見られる無気力行政について (3) 財政見直しと、新市建設計画の変更及び国の責任による新たな事業に対する対策について 学校建設を含む合併時の各市町村の主要事業の見直しと、周知徹底について アスベスト対策と財源確保について (4) 国・県補助金の一般財源化と福祉切り捨て対策について 保育事業に見られる不統一のサービスの改善について 臨時職員の身分を安定させ、あるべきサービスを向上させる保育事業の斬新な実験について 介護事業の改悪と行政課題について (5) 活力ある医療行政について ・ 医療課を廃止し、両津病院、相川病院を独立公営企業に改める必要性について (6) 観光行政で無視できない事件と当面の観光対策について 佐渡汽船のカーフェリーの運航速度の変更がもたらすものについて 「佐渡百選」の虚偽宣伝のもたらすものについて (7) 市民が警鐘鳴らす不正発覚について 発覚した下水道不正つなぎ込み事件の真相について 不正発覚調査で表面化した、職員の料金徴収見落とし事件について (8) 緊急対策を講ずべき行政課題について ・ 登記済み市街地道路の官・民境界の解決に特別対策班を編成して解決に当たる必要性について (9) 合併により落ち込んだ業者に特別対策を講ずる必要性について ・ 市町村合併で極端に事業量が減った業者の体質改善を進めながら、一定期間行政の仕事をまわす配慮が必要ではないか（印刷業者等）	加 賀 博 昭
2	1 今回の組織改革への疑問点から (1) 何が目的の変更か。現組織の欠点、問題点は何か (2) 組織変更による人件費（給与）の増額はどのくらいか (3) 部長の人材がいらない？どうするのか（屋上屋を架すことに） (4) 支所機能の充実には配慮しているか	村 川 四 郎

順	質 問 事 項	質 問 者
2	2 イベントを消化ゲームにしていらないか(多くの講演会・シンポジウム等) (1) 例えば「佐渡の海を考える会」で何を得たか (2) その目的と成果、今後何をどうするというのか (3) 事業目的と担当課が不適合・・・担当課を変更すべき (トライアスロン大会、はなが甲子園、野口健の環境学校) 3 定住促進事業について (1) 担当窓口とU・I・Jターン支援、受入れ態勢の現状は (2) 呼びかけ広報、市営住宅、空き家情報、就業、就職情報、レジャー等 (若者、熟年者、高齢者、独身、妻帯者、技術者等) 4 障害者施設支援への問題点から (1) 「クローバー」の利用者促進状況はどうなっているか (2) 南部各支所の利用対象者の現状と各支所の対応は (3) 施設運営の補助費と従事者の人件費の状況は (4) 相川希望の家の施設の現状と今後の計画はどうなるのか (5) 南部の精神障害者通所施設「サウスクラブ」への市の支援状況は 5 「畜産振興計画」のその後の進歩を問う (1) 畜産酪農担当係(+果樹)の設置が必要。(知識・人員不足、研修を) (2) 畜産補助、支援事業の情報共有と公開が不十分である (3) 牧場整備の進行状況はどの段階か (4) 雌子牛導入・保留への支援事業、多頭数飼育者への補助事業を (5) 共同畜舎建設への支援、異業種からの参加、新規参入への支援は (6) 繁殖・肥育牛増頭のため、市が預託制度の導入を実施すべき 6 佐渡汽船問題への市長の見解を求める (1) 平成18年フェリーの航行時間10分間延長について (2) 11月26日付け、新潟日報の小木航路「県、廃止を検討へ」記事について	村 川 四 郎
3	1 地域防災力を高める体制づくりについて (1) 地域防災計画、マニュアルの作成 (2) 地域防災組織の育成 (3) 災害時要援護者への対応 (4) 避難拠点整備と危険分散 (5) 地域防災組織と自治体職員の役割 (6) 企業、事業所への対応 (7) 防災訓練の見直し (8) 初動時の通信手段の整備等への市としての方針と現状 2 組織機構見直しについて (1) 本庁と支所機能について 住民サービス、住民ニーズ、住民感情を考慮した業務分担、職員配置か 本庁・支所間の協議・検討、職員意見の反映は十分か (2) 部制と課の増設は管理部門の肥大化、縦割行政の弊害が強まり行政改革に逆行すると考えるがいかがか	小 田 純 一

順	質 問 事 項	質 問 者
3	(3) 組織機構と一体の庁舎整備方針の再検討は (4) 機構改革は中長期的視点で、また人事交流、異動には一定のルールを 3 指定管理者制度について ○ 行政の減量化と同時に市民サービスの向上、雇用・福祉・文化等の自治体の政策目的から条例の見直しが必要と思われるがいかにか 情報公開（運営状況、事業報告等）の義務付け 利用者、市民による運営のチェック機関の設置 継続性の確保 良質で安定したサービス提供をさせる人材確保と能力を担保する具体的要件設定	小 田 純 一
4	1 情報網基盤整備について (1) C A T V未整備地区は今後どのような計画で整備するのか イントラネット基盤整備事業で配線されたケーブルにC A T V用の芯線を内蔵してあると承知しているが、利用可能な設計がなされているのか (2) イントラネット基盤整備事業の中での「情報通信システム整備促進事業」ではどのようなことが整備されたのか、またその後の活用状況を聞きたい 2 羽茂自然学園の拡充について ○ 昭和60年に発足し20年を経過して、150名余りの卒園生を送り出している。佐渡の中でも特色ある施設として今後も維持、拡大をしていく必要がある。市長の考えを聞きたい	若 林 直 樹
5	1 新たな経営所得安定対策等について (1) 「品目横断的経営安定対策」にかかる担い手育成について、農地の集積が進まない中、集落営農を主体にした担い手育成をどのように進めるか。また、生産条件格差対策が実質「大豆」のみに絞られたことに対する市の対応は (2) 「農地・水・環境保全向上対策（仮称）」を進める上で、集落機能の維持の立場から合わせて、高品質米等に対して市独自の支援を行う考えはないか (3) 2007年問題を契機ととらえ、新規就農者に対する農地の斡旋や、受入れ体制を支援するとともに、広く発信して呼び込む考えはないか 2 組織・機構改革について (1) 部長制導入による決裁スピードの遅れや、職員から提案される特色ある企画や発想が生かされなくなる可能性はないか (2) 人員削減は計画的に行う必要がある。中期的（5年間）な組織・機構改革案を示した上で、段階的な機構のあり方を示す必要がある。また、支所別定数配分の算定基礎を作成し公平に行うべきと考えるがどうか 3 学校飼育動物の飼育管理について ○ 学校で飼育されている動物の管理について、正しい飼育管理と衛生面について獣医師会の協力を得て適正に行うべきではないか	中 村 剛 一

順	質 問 事 項	質 問 者
5	4 県道佐渡縦貫線（度津線）の改良拡幅工事について ○ 羽茂地区（飯岡・大崎・滝平地区）は羽茂川ダム建設の経過があつて現在も拡幅できないまま完成年度の約束ができていない。市として早期完成を目指して県に働きかける考えはないか	中 村 剛 一
6	佐渡市行政組織と官民一体の佐渡振興について (1) 地域振興について 約1,700人の職員の各地域集落における居住実態を問う 行政組織図は、職員個々が地域に飛び込んでこそ生かされるもの。官民一体こそ佐渡振興の考えを問う (2) 文化芸術振興について 佐渡版画村美術館に対する評価と見解を問う 商工振興費とふるさと振興事業費に「はんが甲子園」の予算が組まれている。発足精神、効果を問う 佐渡市内に、日本アマチュア秀作美術館と佐渡版画村美術館の2常設展がある。政策を問う 文化芸術を癒し空間、医療分野、介護予防に拡大・活用する考えを問う (3) 観光振興について 9月22日の新聞記事に「観光協会来春統合へ、3年後めどに法人化、4支部に集約」とあった。説明を求める 11月13日大野亀で市の花「カンゾウ」の草刈が行われた。職員の参加実態を問う 市職員のボランティア活動に問題点があるかを問う 観光地意識の啓発・高揚が不可欠。不法投棄などのごみ対策が急がれる。取り組み状況を問う (4) 少子高齢社会の充実について 「授乳室が欲しい」と声がある子育て支援から、確保の考えを問う 高齢社会に適合した市営住宅の申し込み制度を求める。規約など見直しの考えを問う	本間千佳子
7	市長の施政方針について 高野市政が任期の折り返しを数か月で迎える。佐渡丸の船長として漂流・迷走を続ける航海だが、後半の航路に明るく楽しい未来の展望を拓くことが可能か伺う (1) 財政破綻を免れそうもないくらいに逼迫する財源不足をどのように補うのか (2) 合併当初の特例債による事業計画は、見直し・削除の試行錯誤の連続だが、一貫した市長の政策スタンスが一向に見えてこない。ハッキリした姿勢を示せ (3) 特例債事業は当初計画の1/3に圧縮されそうだが、大幅な狂いに対してなぜそうなったのか。財政見通しの甘さや分析を見誤った政治責任は重いがどう考えるか	大澤祐治郎

順	質 問 事 項	質 問 者
7	(4) 拙速で場当たり過ぎる政策で議会も職員も振り回されて困っている。 （例えば職員人事の機構改革や施設の民間への管理委託等）それによって生じる財源不足・負担について分析をしているか（ワタリや短昇給の有無）伺う (5) 今後考えられる学校統廃合、庁舎整備、既存施設の管理に必要な財源について分析・確保はしているか (6) 今後の財政計画と見通しについて市長の所見を伺う	大澤祐治郎
8	1 平成18年度予算編成について ○ 財源の見通し及び施策実行への考え方を明らかにされたい 2 組織改革と支所のあり方について (1) 組織改革に対する考え方を質す (2) 組織改革における支所の位置付けと今後の方向を明らかにされたい 3 防災対策について (1) 住民への防災の具体的な対応策を問う (2) 緊急時の住民への周知対策を質す 4 南佐渡森林組合問題について (1) 公金の不正受給により混迷する南佐渡森林組合のその後の状況を質す (2) 林業行政を推進する立場からの南佐渡森林組合への市の今後の対応を問う 5 小中学校の統廃合と島内高校の将来について (1) 小中学校の統廃合の将来への考えを質す (2) 島内高等学校の学級減を含む再配置の動向とその対応への考えを問う 6 近藤福雄記念写真コンテストの企画事業費、運営内容について質す	小 杉 邦 男
9	1 財政の見通しについて (1) 市税の見通しについて (2) 人件費の見通しについて (3) 普通建設事業費の見通しについて (4) 物件費の見通しについて 2 総合開発計画について (1) どのような島づくりを目指すのか (2) 新市建設計画の見直しについて (3) 市税（固定資産税）の減少が予想されるが対策は 3 機構改革と意識改革について (1) 支所のあり方についてどのように考えるか (2) 業務の見直しを含め、意識改革には市長の強いリーダーシップが必要と考えるが、どのように発揮されるのか (3) 研修のあり方について 4 指定管理者制度について ○ 前回の反省と、今後の取組みについて	金 光 英 晴
10	1 本年度主要施策の実施状況について (1) 大綱9項目の進捗状況について (2) 点検（問題点の把握、克服への対応、見直しの要否、新たな課題）	田 中 文 夫

順	質 問 事 項	質 問 者
10	2 機構改革について (1) 組織変更の理由と新機構の具体的な動き方について (2) 支所統廃合とそれに連動した組織変更の予定時期について 3 来年度予算について (1) 編成方針について (2) 新規あるいは廃止予定の事業について	田 中 文 夫
11	1 平成18年度佐渡市組織改革について (1) 部、局、課、係の数について (2) 各支所、教育委員会の組織体系について (3) 平成17年度新設した、20室の配置はどうするのか (4) 緊急時の市役所の防災対応について 2 農政対策について (1) 平成18年産米、目標数量配分について (2) 広域農道整備事業の今後の計画について 3 建設関係について (1) 両津～小木間の国道350号線に歩道のない区間がどれくらいあるか (2) 佐渡市田切須～西大須間の改良工事計画について伺いたい (3) 本年の除雪計画について（市道） 4 教育行政について (1) 児童数の減少による学区の見直しの答申がされたと思うが、その対応について (2) 市関係者、教育委員会が小中学校の入学式・卒業式に出席しないのはなぜか伺いたい	島 倉 武 昭
12	事業推進の上で公害防止等のために地域住民・市・企業との間に結んだ協定についてと事業推進が住民不信を受ける元はどこにあると考えているか (1) 市としての協定書等に対する基本的な考えは (2) 市が確認している件数、内容について (3) 協定後、順守されているかを立入り等により定期実施しているか (4) 地域住民には順守されていないという行政・企業に対し不信感があり、それが次の事業に支障を来している ・ 西二宮地区産廃中間処理施設について (5) 今後の協定書等の管理窓口はどうするのか。特に戸地川採石問題、旧真野地区各協定書について	金 子 克 己
13	1 佐渡市の今後の行政運営について (1) 財政計画と来年度の重点施策・予算編成方針について具体的な説明を求める (2) 機構改革は将来への展望も踏まえながら実施することが必要と考えるが、佐渡市の行政形態の目標とタイムスケジュールについて問う 2 本土との交通手段について (1) 4月と9～10月での佐渡汽船社会実験の結果の分析と今後の取組みについて	金 田 淳 一

順	質 問 事 項	質 問 者
13	(2) 11月26日付け新聞報道された「小木～直江津航路廃止」について (3) 「あいびす」の乗客の利用実績と問題点について (4) 「佐渡空港に関するアンケート調査」と佐渡～調布間の空路社会実験について 3 教育行政について (1) 「義務教育費国庫負担制度」が変更された場合の佐渡市立学校への影響について問う (2) 「学校教育環境等整備検討委員会」の答申を受けての市教育委員会での審議の状況を問う 学校統合等の方針や予定年度をいつまでに公表し、地元説明をしているのか 校舎等の整備はどう対応するのか (3) 県立中・高一貫校設置に関して、市教育委員会としての方向性は審議されたのか (4) 小中学校でのスポーツ・文化活動（部活）について 「部活」の位置付けをどう捉えているか。また担当職員の休日出勤や大会引率への経費負担はどうなっているのか 指導者の不足をどう補っているか (5) 生涯学習施設の整備・管理・利用について 「生涯学習関連施設建設等検討委員会」の答申について 図書館の機能充実について	金 田 淳 一
14	佐渡総合社会体育施設整備事業の総合体育館・陸上競技場建設について ○ 生涯学習関連施設建設等検討委員会の答申は 総合体育館について ア 建設位置と建設規模は イ 建設年度と周辺整備計画は ウ 競技団体の意見を参考にするのか エ 防災対策について 陸上競技場について ア 建設位置と建設規模は イ 新潟県内の公認競技場の数は ウ 全天候型と建設年度は エ サッカー・ラグビー等の使用は オ 観客席の形態・規模は カ 競技団体の意見を参考にするのか	白 木 優
15	1 トキ野生放鳥について ○ 2 巡目国体時、天皇陛下来島を願い、トキ野生放鳥をと考えるが 2 鳥インフルエンザについて ○ 隣国家禽大国中国で、鳥インフルエンザが流行しているが、鳥インフルエンザから発生する新型インフルエンザへの対応は	廣 瀬 擁

順	質 問 事 項	質 問 者
15	3 大型店対策について ○ 来春本線沿い泉地区に大型店が出店すべく建設工事が始まっている。大型店出店時における佐渡市の行政指導と地域住民、商業者へのコンセンサスは 4 佐渡百選めぐりで得た観光対策について (1) 11月13日に実施した成果は (2) 観光客を対象にした場合の料金設定は (3) バック・マージンを考えたエージェントのコース設定の可能性は 5 イベント予算における補助体制について (1) 自主財源をどう考えるか (2) 行政内事務局をどう考えるか (3) 補助金を得る方法は (4) 補助金より大切なことは 6 是正について (1) 平成17年度の予算編成方針はどのようになされたのか (2) 平成18年度予算編成に生かされるべき重要点はなにか (特に教育委員会、企画情報課、観光商工課等...)	廣 瀬 擁
16	1 諮問をしている新エネルギービジョンについての答申は明春とのことであるが、環境・エネルギー対策の面から、木質バイオマスによるエネルギーの活用は佐渡にとって極めて有効な手段と考えるが、市長の見解を伺いたい 2 畑野地区にある軽費老人ホーム「ときわ荘」は設立以来25年間、隣接する待鶴荘を含めて老人ホーム組合として一体管理が行われてきた。行政簡素化が求められている今、なぜ個別運営にする必要があったのか伺いたい 3 国府川の堤防に桜の名所を作りたいということで、昨年3回にわたり関係者によるワークショップが行われて、佐渡地域振興局が「桜堤造成事業」(公共事業)で実現を図りたいと意欲を示めされている。この事業について市長の見解を伺いたい 4 和牛の増殖に意欲的な企業が、来年とりあえず50頭飼育したいと準備を進めている。冬場の飼料確保のために、休耕地を集約して効率的に作業ができるよう、便宜を図って欲しいとの希望が寄せられている。市の対応について伺いたい 5 島内のNPO法人が、地域活性化のために多様な活動を展開しているが、活動のための資金に苦慮している。支援を考えるべきであると思うが、見解を伺いたい 6 平成17年度の人情零れ話、恋愛零れ話の入選作品が決まり、11月11日に表彰式が行われた。大賞を受けた人情零れ話について所見を伺いたい	渡 邊 庚 二
17	1 観光行政について (1) 本年度ここまでの市の観光振興策の効果について (2) 社会実験について 春・秋2回の社会実験でどのような効果があったのか。また問題点・反省点は何か	木 村 悟

順	質 問 事 項	質 問 者
17	来年以降の計画はあるのか (3) 来年度に向けての観光行政（観光振興策）をどのように行うのか 2 教育行政について (1) 生涯学習関連施設建設等検討委員会の答申を受けて市長の見解を伺う (2) 答申を受けてからの今後のスケジュールについて (3) 国体準備委員会の今後のスケジュールについて。また、岡山国体の視察結果（問題点・反省点）について (4) 「国土交通大臣杯」第1回離島交流少年野球大会（一島一市誕生記念交流事業）を終えての問題点・反省点は何か (5) 第1回佐渡センチュリーライド(仮称)の現時点での進捗状況について 3 住民サービス行政について (1) 島内の外国人登録者に現在どのようなサービスを行っているのか (2) 今後サービスはどのようにしていくのか 4 消防行政について ○ 消防団の再編について 各4消防団での分団数・定員数は、再編前と再編後ではいくつか 各4消防団との再編状況はどのようになっているのか	木 村 悟
18	1 芸術療法への取組みについて (1) 今後増大する高齢者福祉関係予算見込みと高齢化率について問う (2) 高齢化先進地であり、古来の伝統文化・芸術が存在する佐渡市は、他市町村のモデルとなるような芸術療法の素地がある。11月27日に京都で開催された学会でも発表され、多摩美大、東北福祉大学等の研究も進んでいる。文化庁、文化ボランティア推進モデル事業の取組みも進み、それらを十分に活用もできる。佐渡市としても、今後積極的に高齢者が健康で生きがいある生活をする上で、芸術療法をモデル事業として行う必要があると考えるが市長の見解を問う 2 2010年問題と近隣市町村との関係について (1) 2010年問題、北陸新幹線の開通は新潟県、新潟市、そして佐渡市としても大きな関心のある事項である。事あるごとに知事、新潟市長もそれらの問題に関しての佐渡の重要性について発言をしている。今後、佐渡市がとるべき近隣市町村との関係はどうあるべきか、市長の見解を問う (2) それらに関係し、陸路・海路・空路の整備も新潟県、新潟市など近隣市町村と一体となる必要がある。本土側、島内とどのように整備していく必要があるかを問う (3) 総合運動場、総合体育館の整備についてもいつごろまでに整備するのか。近隣自治体と協力して行う必要があると思うが市長の見解を問う 3 専門学校、大学等の誘致、設置について ○ 高等学校以上の上級学校、専門学校、大学の誘致について見通しと問題点を問う 4 佐渡伝統文化研究所の法人化、基金化について	大 桃 一 浩

順	質 問 事 項	質 問 者
18	○ 佐渡市には、残すべき及び活用すべき文化的資産が多くある。それらの多くは佐渡市資産ではなく個人資産であり、神社仏閣等で公的資金を利用した整備には限界がある。佐渡伝統文化研究所を法人化し、それらの問題に対して迅速に動ける形態に一步進めてはいかがか。市長の見解を問う	大 桃 一 浩
19	佐渡再生に今何が必要なのか (1) 航路改革について 小木航路の廃止を含め運航体制を検討するとの報道がなされているが、県と市は離島航路運航についての責任をどのように捉えているのか 小木・直江津航路を廃止した場合、国道350号線の国道としての要件は満たすことができるのか 島民の求めている航路改革は本土との格差の是正であり、生命線の議論であることを忘れてはならない。9月議会でも同趣旨の質問をしたが、両津・新潟、小木・直江津間の航路が国道に指定されているが、運航しているカーフェリーに道路交通法は及ぶのか 本土と比較してなぜ石油製品の価格が異常に高いのかを、9月議会で調査と業者とも話をしてみたいとの答弁であったが、調査結果を報告願いたい 佐渡汽船運航航路の所要時間の変更について、いつの時点でどのような形で佐渡市に示され、佐渡市はどのような対応をしたのか。その他、三者協議、指定区間、離島補助航路など航路全般に及ぶ (2) 国民保護法と航路 離島の持つ国家的役割をどのように捉えているか 国民保護法の施行で県は「新潟県国民保護協議会条例」を制定し協議会を開催しているが、佐渡市はメンバーであるのか 協議会のメンバーでない場合、全島民の島外避難の図上シミュレーションを行っていると思うが、佐渡市への連絡及び指導はあるのか 国民保護法に対する佐渡市の対応はできているのか 国土交通省の国民保護計画で指定公共機関を設けているが、佐渡汽船は指定公共機関であるのか 海外からの武力攻撃事態に島民の生命身体及び財産を保護し、島民の生活に及ぼす影響を最小限にとどめるために何が必要と考えているか (3) 06年度の予算編成方針と行政改革 ・ 04、05年の予算執行に対する議会の決算意見・監査報告を生かした予算編成となっているのか。また、議会に示した機構改革案は短期に何を求め、長期では何を目標としているものであるのか市長の明確な指針を示していただきたい。その他、具体的な事例を示しながら「行政改革」の議論を深めてみたいと考えている	祝 優 雄
20	1 佐渡市の農林水産行政について ○ 平成18年度における農林水産業の活性化策の具体策を問う 担い手育成、集落営農推進策はあるのか 中山間地域直接支払制度の取組み集落数と、前回との増減、共同取組配分率は	大石惣一郎

順	質 問 事 項	質 問 者
20	Iターン者受入れに対する支援策は確立されているのか 17年度、集落営農による法人化は何集落あったのか。市としての支援策は 「新たな経営安定対策」に対する佐渡市の基本方針と支援策は 2 佐渡市の教育行政について ○ 廃校舎の現状と今後の活用について問う - 佐渡市全体で、廃校舎は何校あるのか - 現在、利用されている校舎は何校か - 佐渡市が支払う借地料、管理費はいくらか	大石惣一郎
21	1 佐和田地区に建設された産業廃棄物中間処理施設をめぐる問題について (1) これまで多くの地区住民と関係団体に対し、不安と混乱を与え続けてきた産業問題であるが、業者による申請手続きがなされ、県からの操業許可も近いと聞く。この間の経緯並びに今年中、佐渡市の責任において関わった行為の内容とその経過について説明願いたい (2) 今後、佐渡市として関係住民・団体が抱き続けてきている行政への不信を取り除き、環境への影響を最小限にとどめ、住民生活に及ぼす不安をめぐうために、どのような解決策、対応をもってあたるのか、具体的に示されたい 2 来年度から使用される中学校の教科書の決定、とりわけ全国の動向でも問題視され、注目されていた「歴史」「公民」の教科書の採択をめぐって、佐渡市においてはどうかであったか、総括的に質問したい (1) 「歴史」「公民」の教科書採択はどのようにして決められたのか (2) 教職員・保護者・関心をもつ市民の意見聴取の方法、また、それらの意見は採択協議に際し、どのように反映されたのか (3) 今後の教科書採択の時期及びそれに向けた留意点などについて伺いたい	金山教勇
22	佐渡再生について (1) 佐渡再生の大きな柱は何か (2) 地域再生計画の検討について (3) 観光協会のあり方について (4) 観光と環境の両立を図る実践的な事業着手の検討は (5) 各課が横断的に参加するプロジェクトチームの設置について	稲辺茂樹
23	1 学校教育について (1) 両津の前浜地区3小学校統合案について 市長の統合提案に対し、経過報告を求める 今後の取組みについて (2) 小中学校（保育園）統合について 検討委員会の答申内容について 答申を受け、今後どのような方法で実行するのか 2 特別養護老人ホームの待機者（入所申込者）約500人の対応について (1) 現在何人の待機者で、新市建設計画で何人解消されたのか (2) 今後の計画で何人解消されるのか	中村良夫

順	質 問 事 項	質 問 者
23	3 透析患者約150人への対応について ○ 透析施設は市立病院である両津・相川病院等でも透析治療を受けられるようにすべき 4 アスベスト対策について (1) 佐渡市が所有する全ての建築物を対象に調査したのか (2) 市所有の建築物の調査結果について報告を求める アスベスト使用の 有 何棟 無 何棟 調 査 中 何棟 解体予定 何棟 計 何棟 (3) アスベスト使用の有の対応について (4) 調査中のものについて、「除去」「囲い込み」などの必要性が明らかになった段階で予算措置をとることになっているのか (5) 市立学校、保育園の全ての給食調理機器についても調査しているのか (6) 市立学校、保育園の給食調理機器にアスベストの使用があったものについて報告を求める	中 村 良 夫
24	1 国の三位一体改革による影響と今後の対策 (1) 歳入の見通し (2) 歳出の見通し (3) 今後の対策（改革） 2 農業振興策 (1) 島内農産品の輸出 (2) 花粉症緩和米の導入 (3) 後継者不足対策 3 佐渡航路改革 ○ 小木・直江津航路のあり方検討会（28日）の状況と市長の見解	近 藤 和 義